

■カナダ：アルバータ州、容量市場創設を撤回

アルバータ州政府は2019年7月24日、「アルバータ州は、費用対効果が高く信頼性の高い卸電力市場（電力量のみの市場）に戻り、電力システムに対する投資家の信頼を回復する。複雑な容量市場への移行は行わない」と発表した。同州は、1996年以来電力量取引市場を運営してきており、2016年には2021年に運用を開始すべく容量市場への移行を発表し、以降アルバータ州独立系統運用機関（AESO）が電力市場の見直し作業を行ってきた。しかし2019年4月の州選挙で政権を獲得した統一保守党が、前政権による様々な措置の見直しを行うことを決定、5月には独立委員会を設置し、電力市場改革について90日間でレビューを行うよう指示した。そのため、AESO作業部会は見直し作業を中断していた。